

被災地介護施設への全国からの 応援職員を紹介します

平成30年7月

Ver. 1

①氏名 ②応援元施設等名（所在地） ③応援期間 ④自己紹介

特別養護老人ホーム花ぶさ苑

- ①會田 静香（あいた しずか）
- ②社会福祉法人福島県社会福祉事業団 福島県かしわ荘（福島県西郷村）
- ③平成30年4月1日～平成30年6月30日
- ④被災地介護施設再開等支援事業に参加する機会をいただき、花ぶさ苑の応援をさせてもらうことになりました。少しでもお力になればという思いと、初めての土地での生活に緊張していましたが、職員の皆さんを始め、利用者の方々に温かく迎えていただき、たくさんの笑顔に元気をもらい楽しく仕事に励むことができました。



また、これからも、花ぶさ苑の皆さんのますますのご活躍とご健勝を心よりお祈りしています。

- ①須藤 健一郎（すとう けんいちろう）
- ②社会福祉法人福島県社会福祉事業団 福島県ひばり寮（福島県西郷村）
- ③平成30年7月1日～平成30年9月30日
- ④被災地介護施設再開等支援事業で、相双地区へ応援職員として派遣されることが決定した時は初めて訪れる土地ということもあり戸惑いました。しかし、震災等により、今も苦しんでいる方々がいることを知り、微力でもサポートが出来ればと思い、応援職員となることを決意しました。

派遣先では、職員の皆様や利用者の方々の歓迎と温かさに触れ、充実した毎日を過ごすことが出来ました。やっぱり出会いこそ、人生の宝探しですね。



特別養護老人ホームリリー園

- ①鈴木 茂克 (すずき しげかつ)
- ②社会福祉法人福島県社会福祉事業団 福島県けやき荘 (福島県西郷村)
- ③平成30年4月1日～平成30年6月30日
- ④今年の4月から3ヶ月間ではありますが、応援職員として利用者の方の日常生活のお手伝いをさせて頂きました。

同じ福島県に住んでいながら、初めての地であり、心地よい海風と過ごしやすい環境に感動しました。

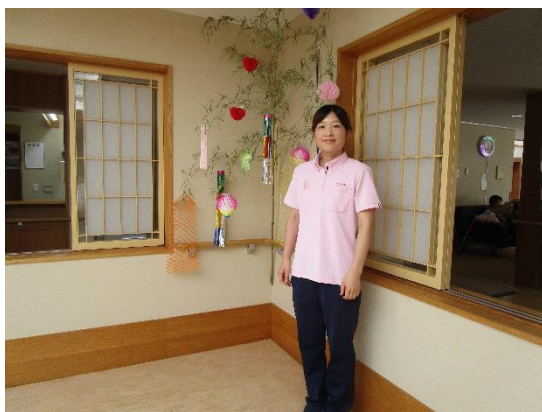
私は、普段主に知的障がいのある方への支援をしており、特別養護老人ホームの経験がありませんでしたが、利用者や職員の方々にとっても親切にして頂き、充実した3ヶ月を送ることが出来ました。

微力ではありますが、少しでも皆さんのお役にたてれば、嬉しい限りであります。また、この経験を今後の福祉人生に大いに役立てていきたいと思っております。

とても貴重な経験をさせて頂いたことに、感謝しております。ありがとうございました。



- ①近内 綾美 (こんない あやみ)
- ②社会福祉法人福島県社会福祉事業団 福島県かえで荘 (福島県西郷村)
- ③平成30年7月1日～平成30年9月30日
- ④私は、高齢者施設でお仕事をするのは初めてで、当初は、多くの戸惑いや不安がありました。



しかし、職員の方々が高齢者の身体的・精神的特徴、行動特性や介護技術、コミュニケーションの回り方等、一つ一つ丁寧に教えて下さることで、私自身、とても学ぶことが多く、疑問や不安の解消、知識や技術の習得に繋がっています。

また、利用者の方から「ありがとうね」と感謝されたり、笑顔を向けられた時には、とても嬉しく、やりがいを感じます。

短い期間ではありますが、今後も学んだことを活かし、皆さんが安心・安全に、そして楽しく笑顔で生活できるよう支援して行きたいと思えます。

特別養護老人ホーム梅の香

①会田 るみ (あいた るみ)

②社会福祉法人恩賜財団済生会支部山形県済生会

特別養護老人ホームながまち荘 (山形県)

③平成30年7月1日～平成30年9月30日

④南相馬より避難されて来た方を7年間ながまち荘でお預かりしたことがあった。その方はいつも南相馬を思い「帰りたい」というのが口癖であった。何とか慣れて頂こうと福島関連のニュースや勇壮な野馬追の話題での会話に努め、笑顔を引き出していた。

しかし、残念なことに今年の3月に体調が急変され逝去されてしまった。そのような経験をし今回この話があった時に一番に名乗り出た！

一度も訪れたことのない土地であったが、懐かしささえ思う。

穏やかなこの紅梅の里で、ホトトギスの美しい声を聴きながらご利用者の方々と接することは幸せである。皆様に元気になって頂きたく、微力ながらもこの「梅の香」で介護職員として最善を尽くしたいと思っています。

